

第二期町田市子ども・子育て支援事業計画の  
見直しについて

2022年12月

町田市

## I 町田市における中間見直しについて

「第二期町田市子ども・子育て支援事業計画」（以下「計画」という）は、5か年を1期とし、今年度が中間年にあたります。そこで、国からの中間見直しの通知を踏まえて、町田市の現状を確認しました。その結果、「地域の実情に応じて必要な場合は、適時に市町村計画を見直すこと」に該当するとし、次の3点の事業について見直しを行いました。

- 1 教育・保育事業「教育・保育のニーズ量と整備状況」
- 2 地域子ども・子育て支援事業⑧「一時預かり事業」
- 3 地域子ども・子育て支援事業⑩「学童保育クラブ事業：放課後児童健全育成事業」

計画の見直しにあたっては、新たな宅地開発等の人口増加要因を加味した人口推計により、ニーズ量の見込みを更新しました。

## II 中間見直しの内容について

### 1 教育・保育事業「教育・保育のニーズ量と整備状況」

#### (1) 変更理由

教育・保育事業では、教育・保育提供区域を5地域（塚、忠生、町田、鶴川及び南地域）とし、教育・保育の「量の見込み」と「確保方策」を設定しています。今回計画の中間確認を行った結果、待機児童数や教育・保育施設の定員の空き状況の変動が大きいことから見直しを行いました。

#### (2) 現状

##### ① 待機児童数について

2022年4月の待機児童は75人で、すべて0～2歳児までの低年齢児です。待機児童のうち、年齢別では1歳児が全体の約6割、地域別では南地域が全体の4～5割を占めています。3～5歳児の待機児童は2021年度以降解消しています。

【待機児童数（確定値）地域別内訳】（2022年4月時点）

単位：人

		堺地域	忠生地域	町田地域	鶴川地域	南地域	合計
待機児童数		8	2	26	6	33	75
(内訳)	0歳児	1	0	8	0	2	11
	1歳児	5	2	14	5	18	44
	2歳児	2	0	4	1	13	20
	3～5歳児	0	0	0	0	0	0

## ② 保育施設の定員の空き状況について

待機児童がいる一方、保育施設の定員に多くの空きが生じている地域もあります。忠生地域には、施設の定員に対し、在籍児童数が6～7割となっている施設もあります。

【地域別の定員空き状況】（2022年4月時点）

単位：人

	堺地域	忠生地域	町田地域	鶴川地域	南地域	合計
0歳児	27	31	5	19	20	102
1歳児	6	27	4	4	2	43
2歳児	5	30	19	4	2	60
3～5歳児	35	126	108	48	29	346

※定員空き状況・・・認可保育所、認定こども園、小規模保育所の定員の空き状況です。

(定員どおり募集できていない分は除く)

## ③ 保育ニーズ量の実績値と確保量について

待機児童数と保育施設の空き状況から地域別に保育ニーズ量<sup>1</sup>に対する確保量<sup>2</sup>を確認したところ、確保量が大きく不足したのは南地域の1～2歳児となっています。南地域については、保育ニーズ量が増えており、2021年度に計画の見直しを行いました。が、転入者の増加等により、見込みよりも確保量の不足がさらに大きくなりました。また、町田地域においては、地域全体では確保量を概ね満たしていますが、保育士不足等により定員どおり募集できていない施設もあり、待機児童が一定数生じています。

1 保育ニーズ量（実績値）・・・在籍児童数 + 待機児童数

2 確保量・・・認可保育所、認定こども園、認証保育所、小規模保育所及び家庭的保育室の利用定員数

【保育ニーズ量と確保量の過不足】（2022年4月時点）

【見込み】

	地域				
	堺	忠生	町田	鶴川	南
0歳児	12	32	▲ 3	8	18
1～2歳児	▲ 18	118	▲ 10	▲ 4	▲ 37
3～5歳児	▲ 7	305	▲ 3	1	20

【実績値】

単位：人

	地域				
	堺	忠生	町田	鶴川	南
0歳児	31	31	▲ 1	26	22
1～2歳児	17	51	33	7	▲ 50
3～5歳児	29	111	95	46	0

※保育ニーズ量に対して、不足している確保量を▲で表示。

※保育ニーズ量と確保量の過不足・・・保育ニーズ量－確保量

（定員の弾力化<sup>3</sup>や待機児童が生じている地域であっても、保育施設の定員に空きが生じている施設もあるため、不足数は待機児童数とは一致はいたしません）

（3）変更内容

中間見直しでは、変更後の人口推計による就学前児童人口（0～5歳の人口）を基に、2022年度の教育・保育施設の利用率<sup>4</sup>や利用率の伸びを考慮して、教育・保育の量の見込みについて更新を行いました。

① 変更後の人口推計について

変更前の人口推計（計画策定時）と変更後の人口推計を比較すると、地域別では南地域と忠生地域において就学前児童人口が増えています。また、年齢区分別では4歳児と5歳児が増えています。

【就学前児童人口（地域別推計）】

単位：人

		堺地域	忠生地域	町田地域	鶴川地域	南地域	合計
2023年度	変更前 a	2,162	2,661	3,708	3,339	5,011	16,881
	変更後 b	2,186	2,777	3,702	3,308	5,116	17,089
	差(b-a)	24	116	▲ 6	▲ 31	105	208
2024年度	変更前 a	2,096	2,581	3,656	3,260	4,888	16,481
	変更後 b	2,110	2,697	3,635	3,207	4,938	16,587
	差(b-a)	14	116	▲ 21	▲ 53	50	106

<sup>3</sup> 定員の弾力化・・・児童福祉施設最低基準を満たしていることを条件に定員を超えて入所できるようにすること

<sup>4</sup> 利用率・・・（在籍児童数＋待機児童数）／0～5歳児各年齢区分人口

【就学前児童人口（年齢区分別推計）】

単位：人

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2023 年度	変更前 a	2,496	2,645	2,740	2,853	2,969	3,178	16,881
	変更後 b	2,413	2,573	2,751	2,907	3,193	3,252	17,089
	差(b-a)	▲ 83	▲ 72	11	54	224	74	208
2024 年度	変更前 a	2,480	2,616	2,703	2,802	2,876	3,004	16,481
	変更後 b	2,339	2,563	2,628	2,830	2,982	3,245	16,587
	差(b-a)	▲ 141	▲ 53	▲ 75	28	106	241	106

## ② 変更後の教育・保育ニーズ量（見込み）について

教育・保育ニーズ量（見込み）の更新を行った結果は「別表1-1～1-4」<sup>5</sup>のとおりとなりました。市全体では、「1号認定」及び「3号認定（0歳）」の「ニーズ量」が減少し、「2号認定」及び「3号認定（1～2歳）」の「ニーズ量」は増加しています。

地域別に見ると、堺地域については、全体的に「ニーズ量」が若干減少していますが、大きな変更はありません。忠生地域については、「2号認定」と「3号認定（1～2歳）」の「ニーズ量」が変更前よりも大きく増加しています。町田地域については、「3号認定（1～2歳）」の「ニーズ量」が変更前よりも減少しています。鶴川地域については、「2号認定」の「ニーズ量」が増加しています。南地域については、2021年度に計画の見直しを行いました。全体的にさらに「ニーズ量」が増加となります。

忠生地域及び南地域については、転入等により就学前児童人口が増加したことが主な要因です。鶴川地域及び町田地域については、利用率の実績値によりそれぞれ増加・減少となっています。

<sup>5</sup> 別表1-1～1-4・・・P. 5～8参照

## ◆市全体 量の見込み

【変更前】		1号認定	2号認定		3号認定		
			幼児期の学校教育利用希望が強い	左記以外	0歳	1~2歳	
2022年度 (3年目)	①ニーズ量	4,695	990	3,751	599	2,914	
			4,741				
	②確保の内容	幼稚園・保育所・認定こども園	6,617	4,988		591	2,475
		認証保育所	0	69		34	104
		家庭的保育室・小規模保育所	0	0		41	384
		計	6,617	5,057		666	2,963
過不足(②-①)	1,922	316		67	49		
2023年度 (4年目)	①ニーズ量	4,548	950	3,730	593	2,887	
			4,680				
	②確保の内容	幼稚園・保育所・認定こども園	6,434	5,038		591	2,499
		認証保育所	0	69		34	104
		家庭的保育室・小規模保育所	0	0		41	384
		計	6,434	5,107		666	2,987
過不足(②-①)	1,886	427		73	100		
2024年度 (5年目)	①ニーズ量	4,426	921	3,717	592	2,879	
			4,638				
	②確保の内容	幼稚園・保育所・認定こども園	6,256	5,038		591	2,499
		認証保育所	0	69		34	104
		家庭的保育室・小規模保育所	0	0		39	381
		計	6,256	5,107		664	2,984
過不足(②-①)	1,830	469		72	105		

【変更後】		1号認定	2号認定		3号認定		
			幼児期の学校教育利用希望が強い	左記以外	0歳	1~2歳	
2022年度 (3年目) 【実績】	①ニーズ量	4,339	1,322	3,668	561	2,921	
			4,990				
	②確保の内容	幼稚園・保育所・認定こども園	6,199	5,201		597	2,498
		認証保育所	0	70		30	102
		家庭的保育室・小規模保育所	0	0		43	379
		計	6,199	5,271		670	2,979
過不足(②-①)	1,860	281		109	58		
2023年度 (4年目)	①ニーズ量	4,344	1,318	3,792	581	2,934	
			5,110				
	②確保の内容	幼稚園・保育所・認定こども園	5,815	5,259		597	2,505
		認証保育所	0	65		27	85
		家庭的保育室・小規模保育所	0	0		43	379
		計	5,815	5,324		667	2,969
過不足(②-①)	1,471	214		86	35		
2024年度 (5年目)	①ニーズ量	4,209	1,285	3,851	564	2,900	
			5,136				
	②確保の内容	幼稚園・保育所・認定こども園	5,458	5,286		597	2,530
		認証保育所	0	65		27	85
		家庭的保育室・小規模保育所	0	0		41	376
		計	5,458	5,351		665	2,991
過不足(②-①)	1,249	215		101	91		

※ 1号認定・・・満3歳以上で、2号認定以外の子ども

2号認定・・・満3歳以上で、保護者の就労等の理由により、保育の必要な子ども

3号認定・・・満3歳未満で、保護者の就労等の理由により、保育の必要な子ども

※「確保の内容」には、P. 9以降の「③変更後の確保量（確保方策）について」の確保方策の追加・変更を反映しています。

※ 1号認定の「確保の内容」については、教育ニーズ量の減少傾向に応じて利用定員（入所児童に即した定員）を変更する見込みです。

※ 2023年度及び2024年度で生じた不足分については、既存の保育施設を活用して対応します。

## ◆堺地域 量の見込み

【変更前】		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼児期の学校教育利用希望が強い	左記以外	0歳	1~2歳
2022年度 (3年目)	①二一ス量	351	61	454	78	354
	515					
	②確保の内容	597	508		90	336
	過不足 (②-①)	246	▲ 7		12	▲ 18
2023年度 (4年目)	①二一ス量	341	59	451	77	348
	510					
	②確保の内容	577	508		90	336
	過不足 (②-①)	236	▲ 2		13	▲ 12
2024年度 (5年目)	①二一ス量	327	57	452	76	344
	509					
	②確保の内容	557	508		88	333
	過不足 (②-①)	230	▲ 1		12	▲ 11

【変更後】		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼児期の学校教育利用希望が強い	左記以外	0歳	1~2歳
2022年度 (3年目) 【実績】	①二一ス量	321	62	411	58	326
	473					
	②確保の内容	490	502		89	343
	過不足 (②-①)	169	29		31	17
2023年度 (4年目)	①二一ス量	316	64	425	66	338
	489					
	②確保の内容	462	502		89	343
	過不足 (②-①)	146	13		23	5
2024年度 (5年目)	①二一ス量	301	62	440	65	330
	502					
	②確保の内容	436	502		87	340
	過不足 (②-①)	135	0		22	10

## ◆忠生地域 量の見込み

【変更前】		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼児期の学校教育利用希望が強い	左記以外	0歳	1~2歳
2022年度 (3年目)	①二一ス量	883	405	742	105	542
	1,147					
	②確保の内容	1,049	1,452		137	660
	過不足 (②-①)	166	305		32	118
2023年度 (4年目)	①二一ス量	834	383	703	103	532
	1,086					
	②確保の内容	1,004	1,452		137	660
	過不足 (②-①)	170	366		34	128
2024年度 (5年目)	①二一ス量	806	369	677	101	519
	1,046					
	②確保の内容	961	1,452		137	660
	過不足 (②-①)	155	406		36	141

【変更後】		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼児期の学校教育利用希望が強い	左記以外	0歳	1~2歳
2022年度 (3年目) 【実績】	①二一ス量	781	628	802	108	619
	1,430					
	②確保の内容	1,000	1,541		139	670
	過不足 (②-①)	219	111		31	51
2023年度 (4年目)	①二一ス量	767	624	803	100	632
	1,427					
	②確保の内容	918	1,542		139	669
	過不足 (②-①)	151	115		39	37
2024年度 (5年目)	①二一ス量	743	600	810	96	626
	1,410					
	②確保の内容	843	1,541		139	670
	過不足 (②-①)	100	131		43	44

## ◆町田地域 量の見込み

【変更前】		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼児期の学校教育利用希望が強い	左記以外	0歳	1~2歳
2022年度 (3年目)	①二一ズ量	945	224	840	140	730
			1,064			
	②確保の内容	1,250	1,061		137	720
	過不足 (②-①)	305	▲ 3		▲ 3	▲ 10
2023年度 (4年目)	①二一ズ量	898	214	859	139	721
			1,073			
	②確保の内容	1,209	1,061		137	720
	過不足 (②-①)	311	▲ 12		▲ 2	▲ 1
2024年度 (5年目)	①二一ズ量	873	208	876	139	716
			1,084			
	②確保の内容	1,170	1,061		137	720
	過不足 (②-①)	297	▲ 23		▲ 2	4

【変更後】		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼児期の学校教育利用希望が強い	左記以外	0歳	1~2歳
2022年度 (3年目) 【実績】	①二一ズ量	879	224	760	136	684
			984			
	②確保の内容	1,165	1,079		135	717
	過不足 (②-①)	286	95		▲ 1	33
2023年度 (4年目)	①二一ズ量	857	203	800	137	673
			1,003			
	②確保の内容	1,124	1,044		132	677
	過不足 (②-①)	267	41		▲ 5	4
2024年度 (5年目)	①二一ズ量	848	197	825	133	657
			1,022			
	②確保の内容	1,084	1,044		132	677
	過不足 (②-①)	236	22		▲ 1	20

## ◆鶴川地域 量の見込み

【変更前】		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼児期の学校教育利用希望が強い	左記以外	0歳	1~2歳
2022年度 (3年目)	①二一ズ量	876	105	648	112	516
			753			
	②確保の内容	1,522	754		120	512
	過不足 (②-①)	646	1		8	▲ 4
2023年度 (4年目)	①二一ズ量	859	103	649	111	510
			752			
	②確保の内容	1,478	754		120	512
	過不足 (②-①)	619	2		9	2
2024年度 (5年目)	①二一ズ量	829	99	654	112	509
			753			
	②確保の内容	1,435	754		120	512
	過不足 (②-①)	606	1		8	3

【変更後】		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼児期の学校教育利用希望が強い	左記以外	0歳	1~2歳
2022年度 (3年目) 【実績】	①二一ズ量	790	186	639	97	509
			825			
	②確保の内容	1,314	871		123	516
	過不足 (②-①)	524	46		26	7
2023年度 (4年目)	①二一ズ量	799	196	631	105	504
			827			
	②確保の内容	1,200	871		123	516
	過不足 (②-①)	401	44		18	12
2024年度 (5年目)	①二一ズ量	779	193	633	101	501
			826			
	②確保の内容	1,096	871		123	516
	過不足 (②-①)	317	45		22	15

## ◆南地域 量の見込み

【変更前】		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼児期の学校教育 利用希望が強い	左記以外	0歳	1~2歳
2022 年度 (3年目)	①二一ズ量	1,640	195	1,067	164	772
			1,262			
	②確保の内容	2,199	1,282		182	735
	過不足 (②-①)	559	20		18	▲ 37
2023 年度 (4年目)	①二一ズ量	1,616	191	1,068	163	776
			1,259			
	②確保の内容	2,166	1,332		182	759
	過不足 (②-①)	550	73		19	▲ 17
2024 年度 (5年目)	①二一ズ量	1,591	188	1,058	164	791
			1,246			
	②確保の内容	2,133	1,332		182	759
	過不足 (②-①)	542	86		12	▲ 32

【変更後】		1号認定	2号認定		3号認定	
			幼児期の学校教育 利用希望が強い	左記以外	0歳	1~2歳
2022 年度 (3年目) 【実績】	①二一ズ量	1,568	222	1,056	162	783
			1,278			
	②確保の内容	2,230	1,278		184	733
	過不足 (②-①)	662	0		22	▲ 50
2023 年度 (4年目)	①二一ズ量	1,605	231	1,133	173	787
			1,364			
	②確保の内容	2,111	1,365		184	764
	過不足 (②-①)	506	1		11	▲ 23
2024 年度 (5年目)	①二一ズ量	1,538	233	1,143	169	786
			1,376			
	②確保の内容	1,999	1,393		184	788
	過不足 (②-①)	461	17		15	2

③ 変更後の確保量（確保方策）について

5地域の教育・保育ニーズ量（見込み）の更新結果を踏まえ、確保量（確保方策）について検討しました。検討にあたっては、地域全体とは異なる対応が必要な区域（以下「エリア」<sup>6</sup>という）も考慮して行いました。

ア 確保量の不足について

保育ニーズ量の更新を行った結果、南地域において保育施設の確保量に多くの不足が生じる見込みとなりました。南地域は南町田グランベリーパーク駅周辺において、駅、商業施設及び都市公園が一体となったまちづくりが進み、まちの魅力が向上しています。同駅周辺エリアにおいては、2022年1月に大規模マンション（582戸）が竣工し、また、2024年1月にも大規模マンション（375戸）の竣工が予定されている等、今後も保育ニーズ量の増加が見込まれます。

【南地域 保育ニーズ量（見込み）と確保量の過不足】 単位：人

	南 地 域					
				(内) 南町田グランベリーパーク駅周辺エリア		
	0歳児	1～2歳児	3～5歳児	0歳児	1～2歳児	3～5歳児
2023年度	11	▲ 23	1	1	▲ 19	20
2024年度	15	▲ 22	0	6	▲ 28	10
2025年度	14	▲ 46	▲ 25	4	▲ 15	▲ 45
2026年度	16	▲ 38	▲ 20	6	▲ 6	▲ 61
2027年度	15	▲ 29	0	6	1	▲ 57

イ 確保量（確保方策）の追加について

見直した保育ニーズ量に対応する確保量（確保方策）として、南地域の南町田グランベリーパーク駅周辺エリアに2024年4月開所の認可保育所（定員60名規模）を1園整備し、1～2歳児の定員を24名増やします。

【南地域 保育ニーズ量（見込み）と確保量の過不足】 単位：人

	南 地 域（施設整備後）					
				(内) 南町田グランベリーパーク駅周辺エリア		
	0歳児	1～2歳児	3～5歳児	0歳児	1～2歳児	3～5歳児
2023年度	11	▲ 23	1	1	▲ 19	20
2024年度	15	2	17	6	▲ 4	27
2025年度	14	▲ 22	4	3	5	▲ 21
2026年度	16	▲ 14	16	6	18	▲ 25
2027年度	15	▲ 5	36	6	25	▲ 21

<sup>6</sup> エリア・・・ここでは待機児童が多く生じている等、地域全体とは異なる対応が必要な区域（主要駅などを中心とした半径1.0km圏）を指します。

ウ 確保量（確保方策）の変更について

鶴川地域にある「ほほえみ家庭的保育室（三輪緑山3-2106-25）」は、施設側の意向により、2025年4月に南地域（成瀬台3-31-5）に移転します。定員5名のため、移転に伴う保育施設の確保量に大きな影響はありません。

【確保の内容及び実施時期】

整備年度	2020年度 (1年目)	2021年度 (2年目)	2022年度 (3年目)	2023年度 (4年目)	2024年度 (5年目)
				中間見直し	
堺地域					
忠生地域	認定こども園 1園(移行)				
町田地域	小規模保育所 2園(新設)				
鶴川地域	認定こども園 1園(移行)				家庭的保育室 1園(移転)
南地域	認可保育所 1園(新設) 小規模保育所 1園(新設)	小規模保育所 1園(新設)	認可保育所 1園(新設)	認可保育所 1園(新設)	↓

※太枠内を新規追加しています。

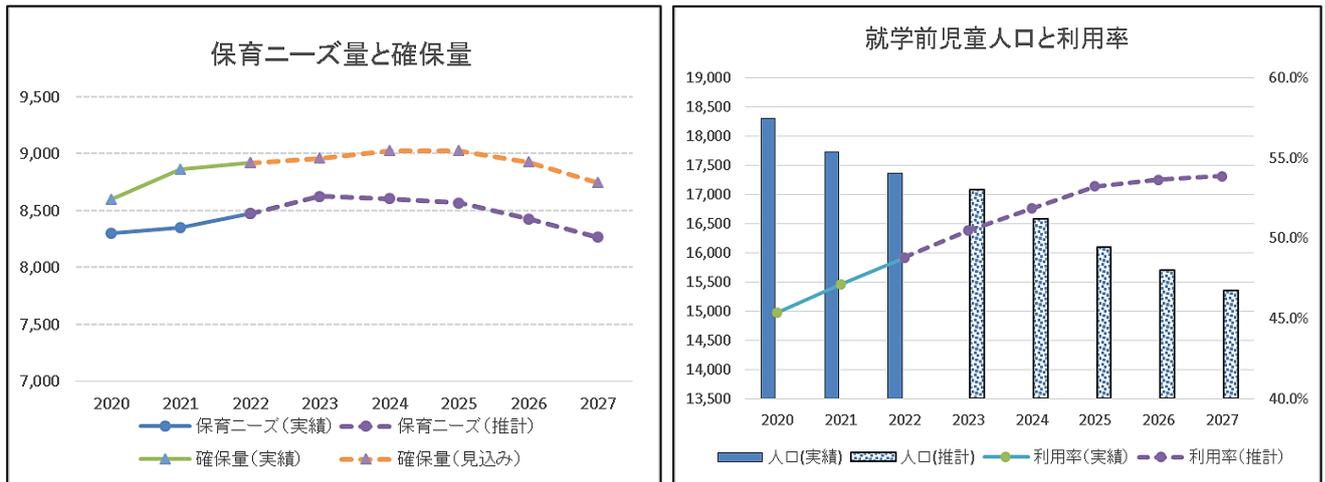
※施設の開所は整備年度の翌年度4月となります。

#### (4) 今後の見通しと方向性

##### ①保育ニーズ量について

保育ニーズ量の見通しとしては、就学前児童人口と利用率の見込みから、2023年度が町田市全体の保育ニーズ量のピークとなり、2025年度までほぼ横ばいに続くと想定しています。その後は利用率の上昇が落ち着き、就学前児童人口の減少とともに保育ニーズは減少する見込みです。

なお、保育ニーズ量のピークには地域差があり、南地域については2025年度がピークになる見込みです。



##### ②確保量（確保方策）について

今後、保育ニーズ量が減少に転じることも見据え、確保量についても保育ニーズ量の減少とともに調整していく必要があります。そのため、今後の確保方策は、既存施設の規模縮小や移転・閉所等が中心となる見込みです。2022年4月に町田市子ども・子育て会議から答申を受けた「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」を踏まえて、教育・保育施設の適正規模・適正配置を進めていきます。

## (1) 変更理由

2019年度の計画策定時は、「ニーズ量」に「市外の幼稚園・認定こども園に通園している町田市児童」を含めていましたが、他事業の条件に揃え市内実施園のみに限定する必要があったため、指標を見直しました。

「定員数」及び「実施結果における実績」については、施設数や定員数の増減状況と比較するのにより適した数量である「実績値」に変更しました。

## (2) 現状

2018～2024年度のニーズ量の実績値と現計画の量の見込みについて、計画策定時の算出方法に基づく算出結果と、今回の見直しを行った算出方法に基づく算出結果について比較を行ったところ、以下のとおり乖離がありました。

年度	区分	項目	見直し前	見直し後	差
2018（実績）	量の見込み	ニーズ量	224,534	216,769	▲7,765
		定員数	224,534	528,669	304,135
	実施結果	実績	224,534	216,769	▲7,765
		定員数	224,534	528,669	304,135
2020（1年目）	量の見込み	ニーズ量	224,500	216,800	▲7,700
		定員数	224,500	528,700	304,200
	実施結果	実績	224,500	191,995	▲32,505
		定員数	494,586	514,517	19,931
2021（2年目）	量の見込み	ニーズ量	224,500	216,800	▲7,700
		定員数	224,500	528,700	304,200
	実施結果	実績	224,500	194,181	▲30,319
		定員数	514,514	588,162	73,648
2022（3年目）	量の見込み	ニーズ量	224,500	216,800	▲7,700
		定員数	224,500	528,700	304,200
	実施結果	実績	-	-	-
		定員数	-	-	-
2023（4年目）	量の見込み	ニーズ量	224,500	216,800	▲7,700
		定員数	224,500	528,700	304,200
	実施結果	実績	-	-	-
		定員数	-	-	-
2024（5年目）	量の見込み	ニーズ量	224,500	216,800	▲7,700
		定員数	224,500	528,700	304,200
	実施結果	実績	-	-	-
		定員数	-	-	-

### (3) 変更内容

「量の見込みにおけるニーズ量」について、以下のとおり見直しを行いました。また、「定員数」及び「実施結果における実績」について、以下のとおり見直しを行いました。

#### 【見直し前】

- ① 「量の見込みにおけるニーズ量」について、「市外の幼稚園・認定こども園に通園している町田市児童」を含んでいました。
- ② 「定員数」及び「実施結果における実績」について、「量の見込みにおけるニーズ量」と同値としていました。

量の見込み		2018年度 (実績)	2020年度 (1年目)	2021年度 (2年目)	2022年度 (3年目)	2023年度 (4年目)	2024年度 (5年目)
①ニーズ量		224,534	224,500	224,500	224,500	224,500	224,500
②確保の内容	施設数	16	16	16	16	16	16
	定員数	224,534	224,500	224,500	224,500	224,500	224,500
過不足(②-①)		0	0	0	0	0	0

実施結果		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
①実績		224,534	224,500	224,500			
②確保の内容	施設数	16	15	19			
	定員数	224,534	494,586	514,514			
過不足(②-①)		0	270,086	290,014	0	0	0

#### 【見直し後】

- ① 「ニーズ量」に「市外の幼稚園・認定こども園に通園している町田市児童」を含まないこととします。
- ② 「定員数」及び「実施結果における実績」を、実績値に変更します。

量の見込み		2018年度 (実績)	2020年度 (1年目)	2021年度 (2年目)	2022年度 (3年目)	2023年度 (4年目)	2024年度 (5年目)
①ニーズ量		216,769	216,800	216,800	216,800	216,800	216,800
②確保の内容	施設数	16	16	16	16	16	16
	定員数	528,669	528,700	528,700	528,700	528,700	528,700
過不足(②-①)		311,900	311,900	311,900	311,900	311,900	311,900

実施結果		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
①実績		216,769	191,995	194,181			
②確保の内容	施設数	16	15	19			
	定員数	528,669	514,517	588,162			
過不足(②-①)		311,900	322,522	393,981	0	0	0

### （1）変更理由

認定こども園及び幼稚園が一時保育の対象施設に加えられたのは、子ども・子育て支援新制度が開始された2015年度からです。2019年度の計画策定時は、従来の制度の趣旨から一時保育の主たる施設として、民間保育所、小規模保育施設、一時預かり施設としての送迎保育ステーションを対象施設として指標を設定しました。その後、2019年度に始まった無償化制度の影響で幼稚園・認定こども園の一時預かり利用人数が大幅に増加し、2019年度以降、幼稚園・認定こども園の一時保育利用者数は全体の約4割で推移しています。一時保育の実態に合わせるため、施設類型について幼稚園・認定こども園を含むことにしました。

2019年度の計画策定時の算出方法は、「ニーズ量」をアンケート調査報告と人口推計を基に減少傾向と見込んでいましたが、2020年度の新型コロナウイルス感染症の影響以外は増加傾向が見られたため、一時保育の実態に合わせ、指標を見直しました。

「実績」については、施設数や定員数の増減状況と比較するのにより適した数量である「実績値」に変更しました。

### （2）現状

2018～2024年度のニーズ量の実績値と現計画の量の見込みについて、計画策定時の算出方法に基づく算出結果と、今回の見直しを行った算出方法に基づく算出結果について比較を行ったところ、以下のとおり乖離がありました。

年度	区分	項目	見直し前	見直し後	差
2018年度	量の見込み	ニーズ量	19,138	37,208	18,070
		施設数	44	56	12
		定員数	74,160	125,280	51,120
	実施結果	実績	19,138	37,208	18,070
		施設数	44	56	12
		定員数	74,160	125,280	51,120
2020年度	量の見込み	ニーズ量	18,700	37,200	18,500
		施設数	44	56	12
		定員数	74,160	125,300	51,140
	実施結果	実績	18,700	30,444	11,744
		施設数	42	56	14
		定員数	89,280	210,000	120,720
2022年度	量の見込み	ニーズ量	18,200	37,200	19,000
		施設数	45	56	11
		定員数	75,845	125,300	49,455
	実施結果	実績	18,200	45,859	27,659
		施設数	45	60	15
		定員数	114,240	248,400	134,160
2022年度	量の見込み	ニーズ量	17,600	37,200	19,600
		施設数	45	56	11
		定員数	75,845	125,300	49,455
	実施結果	実績	-	-	-
		施設数	-	-	-
		定員数	-	-	-
2023年度	量の見込み	ニーズ量	17,200	37,200	20,000
		施設数	45	56	11
		定員数	75,845	125,300	49,455
	実施結果	実績	-	-	-
		施設数	-	-	-
		定員数	-	-	-
2024年度	量の見込み	ニーズ量	16,800	37,200	20,400
		施設数	45	56	11
		定員数	75,845	125,300	49,455
	実施結果	実績	-	-	-
		施設数	-	-	-
		定員数	-	-	-

### (3) 変更内容

「量の見込み」のうち「ニーズ量」及び「定員数」について、以下のとおり見直しを行いました。また、「実施結果」のうち「実績」、「施設数」及び「定員数」について、以下のとおり見直しを行いました。

#### 【見直し前】

- ①民間保育所・小規模・送迎ステーションのみで算出していて、施設類型上の公立保育所・認定こども園・幼稚園が含まれていませんでした。
- ②「実施結果における実績」については、「量の見込みにおけるニーズ量」と同値としていました。

算出方法	アンケート調査報告書による1人当たりの利用日数は減少傾向が見られることから、ニーズ量は減少していくと見込み、実績値に0～5歳の人口推計の減少率を乗じて算出					
量の見込み	2018年度 (実績)	2020年度 (1年目)	2021年度 (2年目)	2022年度 (3年目)	2023年度 (4年目)	2024年度 (5年目)
①ニーズ量	19,138	18,700	18,200	17,600	17,200	16,800
②確保の内容	施設数	44	44	45	45	45
	定員数	74,160	74,160	75,845	75,845	75,845
過不足(②-①)	55,022	55,460	57,645	58,245	58,645	59,045

実施結果	2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
①実績	19,138	18,700	18,200			
②確保の内容	施設数	44	42	45		
	定員数	74,160	89,280	114,240		
過不足(②-①)	55,022	70,580	96,040	0	0	0

#### 【見直し後】

- ①全施設類型で算出します。
- ②「実施結果における実績」を、実績値に変更します。
- ③「量の見込み」と実績値に乖離があるため、「量の見込み」の算出方法を見直します。

算出方法	人口推計から0～5歳の子どもの数は減少することが見込まれるが、預かり保育ニーズは高まっていくことが想定されるため、2018年度並で推移していくとして算出					
量の見込み	2018年度 (実績)	2020年度 (1年目)	2021年度 (2年目)	2022年度 (3年目)	2023年度 (4年目)	2024年度 (5年目)
①ニーズ量	37,208	37,200	37,200	37,200	37,200	37,200
②確保の内容	施設数	56	56	56	56	56
	定員数	125,280	125,300	125,300	125,300	125,300
過不足(②-①)	88,072	88,100	88,100	88,100	88,100	88,100

実施結果	2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
①実績	37,208	30,444	45,859			
②確保の内容	施設数	56	56	60		
	定員数	125,280	210,000	248,400		
過不足(②-①)	88,072	179,556	202,541	0	0	0

(1) 変更理由

町田市では、2021年4月から学童保育クラブの入会対象を全学年に拡大しており、4月1日時点で4,124人の児童が入会しました。2022年4月1日時点では、4,513人が入会し、2021年度と比べて389人増加しています。市内の小学校在籍児童数は減少傾向にあるものの、共働き家庭の増加等により、学童保育クラブに対するニーズは高まっています。

つきましては、計画における放課後児童健全育成事業のニーズ量の見直しを実施しました。

(2) 現状

見直しにあたり、2021年及び2022年それぞれの4月1日時点におけるニーズ量の実績値と現計画の量の見込みとの比較を行ったところ、以下のとおり乖離がありました。

①ニーズ量	学年	2021年度			2022年度		
		見込値	実績値	乖離	見込値	実績値	乖離
	1年生	1,300	1,375	75	1,297	1,496	199
	2年生	1,182	1,247	65	1,184	1,267	83
	3年生	1,098	977	▲121	1,013	992	▲21
	4年生	401	459	58	413	510	97
	5年生	77	49	▲28	80	213	133
	6年生	24	22	▲2	24	43	19
	合計	4,082	4,129	47	4,011	4,521	510

乖離の要因として、以下のとおりと考えます。

- ・2021年度から開始した高学年児童の受け入れによる入会児童数の増加
- ・共働き家庭の増加等による入会児童数の増加

【学童保育クラブの入会児童数】

	1年生	2年生	3年生	低学年計	4年生	5年生	6年生	高学年計	全学年計
<b>2020年度</b> (入会率)※	<b>1,423</b> (43.6%)	<b>1,245</b> (37.2%)	<b>1,043</b> (30.8%)	<b>3,711</b> (37.2%)	<b>21</b> (22.1%)	<b>16</b> (14.3%)	<b>8</b> (9.4%)	<b>45</b> (15.3%)	<b>3,756</b> (35.7%)
<b>2021年度</b> (入会率)※	<b>1,375</b> (41.5%)	<b>1,247</b> (37.3%)	<b>977</b> (28.2%)	<b>3,599</b> (35.7%)	<b>455</b> (13.0%)	<b>48</b> (1.3%)	<b>22</b> (0.6%)	<b>525</b> (5.0%)	<b>4,124</b> (19.5%)
<b>2022年度</b> (入会率)※	<b>1,496</b> (44.7%)	<b>1,267</b> (38.6%)	<b>992</b> (30.2%)	<b>3,755</b> (37.8%)	<b>503</b> (14.8%)	<b>212</b> (6.2%)	<b>43</b> (1.2%)	<b>758</b> (7.4%)	<b>4,513</b> (22.1%)
<b>2020-2021</b>	<b>△ 48</b>	<b>2</b>	<b>△ 66</b>	<b>△ 112</b>	<b>434</b>	<b>32</b>	<b>14</b>	<b>480</b>	<b>368</b>
<b>2021-2022</b>	<b>121</b>	<b>20</b>	<b>15</b>	<b>156</b>	<b>48</b>	<b>164</b>	<b>21</b>	<b>233</b>	<b>389</b>

※入会率は、入会児童数を学校在籍児童数で除した割合

### (3) 変更内容

学童保育クラブ事業は、子育て世代の就労支援を目的とした事業であり、入会待ち児童が生じることがないように、計画の量の見込みのうち、「①ニーズ量」と「②確保の内容」を変更しました。放課後に利用可能な学校教室の活用などをして、育成スペースの確保に努めます。

#### ◆放課後児童健全育成事業 量の見込み

##### 【変更前】

量の見込み		2023年度 (4年目)	2024年度 (5年目)
①ニーズ量	1年生	1,201	1,164
	2年生	1,182	1,092
	3年生	1,019	1,016
	4年生	382	384
	5年生	82	76
	6年生	25	26
	合計	3,891	3,758
②確保の内容	施設数	42	42
	低学年	3,402	3,272
	高学年	489	486
	確保量	3,891	3,758

##### 【変更後】

量の見込み		2023年度 (4年目)	2024年度 (5年目)
①ニーズ量	1年生	1,291	1,275
	2年生	1,338	1,158
	3年生	1,032	1,089
	4年生	753	797
	5年生	210	339
	6年生	83	80
	合計	4,707	4,738
②確保の内容	施設数	42	42
	低学年	3,661	3,522
	高学年	1,046	1,216
	確保量	4,707	4,738

#### ◆算出方法

- ・ 1～5年生：小学生児童推計データ×クラブ毎の入会率推計値から算出
- ・ 6年生：すでに高学年の受け入れを実施している東京都26市の入会データから入会率を算出